

平成21年度
水道局予算要求方針

【目次】

- 1 平成21年度水道局予算要求総括表・・・・・・・・・・ 1
- 2 平成21年度水道局経営方針・・・・・・・・・・ 2
- 3 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・ 3
- 4 事務事業の見直し等・・・・・・・・・・ 4

1 平成21年度水道局予算要求総括表

【上水道事業会計】

平成21年度要求総額 38,650,750千円
 (平成20年度予算額 39,484,670千円)
 前年度比 2.1%

《主な事業》

(単位：千円)

| 事業名 | 平成21年度 予算要求額A | 平成20年度 予算額 B | 増減 A - B |
|-----------------|------------------|-----------------|-------------|
| 新水道施設・再構築プランの策定 | 20,000 | 0 | 20,000 |
| 新水質ステップアップ事業 | 144,607 | 0 | 144,607 |
| アクアフレッシュ事業 | 35,000 | 35,000 | 0 |
| 貯水槽水道の管理強化事業 | 30,000 | 29,911 | 89 |
| 新若戸道路水道連絡管整備事業 | 200,000 | 300,000 | 100,000 |
| 配水管更新事業 | 3,000,000 | 2,500,000 | 500,000 |
| 大谷配水池更新事業 | 168,000 | 112,000 | 56,000 |
| 北部福岡緊急連絡管整備事業 | 4,790,653 | 3,483,459 | 1,307,194 |
| 水道用水供給事業 | 3,825,404 | 5,579,099 | 1,753,695 |

【工業用水道事業会計】

平成21年度要求総額 2,946,580千円
 (平成20年度予算額 4,679,550千円)
 前年度比 37.0%

《主な事業》

(単位：千円)

| 事業名 | 平成21年度 予算要求額A | 平成20年度 予算額 B | 増減 A - B |
|----------------|------------------|-----------------|-------------|
| 本城浄水場排水処理施設改築 | 141,120 | 94,080 | 47,040 |
| 本城浄水場特高受配電設備更新 | 104,976 | 69,984 | 34,992 |

2 平成21年度 水道局経営方針

上水道事業

「水道事業中期経営計画」(平成18年度～22年度)に基づく施策の推進

「水道事業中期経営計画」に基づき、事業計画を実施するとともに、水道施設の効率的な維持管理、組織の簡素化や事務改善、民間的手法の活用などにより、更なる事業経営の効率化を進め、経費縮減に積極的に取り組みます。

平成22年度までは、この中期経営計画で定めた今後の経営方針に基づき、経営基盤の強化を図ります。

今後の経営方針

(1) 安価な料金を維持するためのコスト縮減

一層の経営の効率化や業務の見直しによる委託化の推進など、コスト縮減に努め、安価な料金を維持する。

(2) 資金の確保

今後増大する水道施設の更新事業などに備えるほか、大規模災害、事故の緊急対策用として対処するため、平成22年度末で約50億円以上の資金を確保します。(H21末：基金を除いて約52億円確保)

また、平成18年度に設置した水道事業建設改良基金条例に基づき、基金を積み立てます。(H21：6億円、累積積立金19億円)

(3) 企業債残高の縮減

後年度における負担を軽減するため、償還金の範囲内に企業債の発行を抑制しながら、平成22年度末で約30億円(平成17年度決算対比)企業債残高を減少(H20末64,193億円 H21末63,119億円、11億円)させます。(北部福岡緊急連絡管整備事業及び水道用水供給事業を除く)

工業用水道事業

健全経営の維持

工業用水道事業については、必要な施設の維持・整備を計画的に実施する一方、新規需要の開拓など収入の確保に努めるとともに、より一層の経費節減に努めます。

今後の経営方針

(1) コスト縮減の取り組みの推進

(2) 資金の確保

(3) 企業債残高の縮減

3 重点的に取り組みを行う主なもの

(1)お客さまが安心しておいしく飲める水道

安心しておいしく飲める水を供給するため、水源段階から浄化段階さらに給水段階に至る水質管理を強化し、蛇口での良質な水の確保に努めます。

新規 水質ステップアップ事業 144,607千円
水質基準(カビ臭)の強化に伴い、今まで以上の水質を求め、水処理の強化を図ります。

- 1 アクアフレッシュ事業 35,000千円
小・中学校の児童・生徒が水道水のおいしさを実感できるよう小・中学校の直結式給水への切り替えを促進します。(H21直結化助成件数:20校)

- 1 貯水槽水道の管理強化事業 30,000千円
水道水の水質保全を図るため、貯水槽設置者に適正管理の指導・啓発を行います。

(2)いつでも安定して供給できる水道

事故や災害に強い水道を目指し、主要送水系統のループ化による基幹浄水場間のネットワーク強化や周辺自治体との相互水融通などにより、安定した給水体制を強化します。

同時に水道施設の更新は、事故時のバックアップと将来の水需要を考慮した適正な規模で進めます。

新規 水道施設・再構築プランの策定 20,000千円
少子高齢化の進展等により、水需要が減少傾向にある中、水道施設の効率的な更新を図るため、将来の水需要予測を踏まえ、水道施設の再構築プランを策定します。

- 1・**拡充** 新若戸道路水道連絡管整備事業 200,000千円
送水管のループ化によるライフラインの強化を図るため、新若戸道路整備に併せて水道連絡管を整備します。(H21:920m整備)

- 1・**拡充** 配水管更新事業 3,000,000千円
配水管のうち、主として昭和38年以前に布設されたものについては、経年劣化が著しいため、計画的に更新します。

- 1・**拡充** 大谷配水池更新事業 168,000千円
経年劣化が著しい基幹配水池である大谷配水池を全面更新し、安定給水の確保を図ります。

- 1・**拡充** 北部福岡緊急連絡管整備事業 4,790,653千円
災害時など緊急時に本市と福岡都市圏で相互に水の融通を図るため、緊急連絡管(約50km)の整備を行います。(H21:12km整備)

- 1・**拡充** 水道用水供給事業 3,825,404千円
北部福岡緊急連絡管整備事業に併せ、水道用水供給事業の施設整備を推進します。(H21:10.3km整備)

4 事務事業の見直し等

(1) 省エネルギー対策の実施による浄化費（薬品費、動力費）の削減

伊佐座取水場の引野系送水ポンプは、引野配水池（標高 74.5 m）への送水能力を有しているが、同時に養福寺貯水池（55.0 m）及び三菱化学（3.18 m）へも送水している。これは、55.0 m 及び 3.18 m への送水に 74.5 m の送水エネルギーを使用していることであり不必要な電気を浪費している。一方、養福寺へは本城から頓田貯水池（21.0 m）の水を直接送水が可能（引野配水池は不可）であり、この送水エネルギーは 34.0 m しか要しない。つまり、3カ所の送水を伊佐座と本城で分担すれば、適正なエネルギーで送水できる。しかし、現状では配管の都合上この分離送水が実現できない。このため、森下分岐の配管を変更しバイパス管を布設すれば、分離送水が可能となる。

また、この分離送水により伊佐座の工水沈澱池処理量も大幅に減少し凝集剤が節約できる。頓田貯水池の水は薬品処理の必要がないので薬品費も大幅減となり、年間約 1,500 万円の浄化費（薬品費、動力費）が削減できる。

